

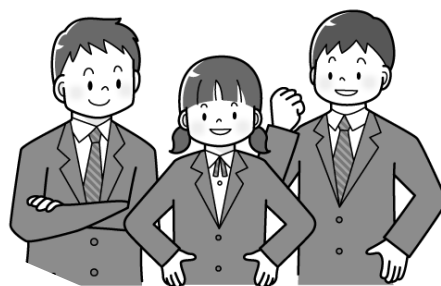
家族パワーで学力アップ!

家庭学習のすすめ

香取市教育委員会
「家庭学習のすすめ（リーフレット）」



**家庭学習の重要性が
改めて注目されています。**



子どもたち一人ひとりには多様な可能性を秘めた存在であり、その力は学校・家庭・地域が連携することにより、育まれる効果が高まります。家庭では、その基盤となる資質や能力、態度を養っていただくことが重要になります。例えば、早寝早起きの習慣、家の手伝い、家庭学習の定着などです。

今回、香取市教育委員会では、家庭学習が充実するよう「家庭学習のすすめ（リーフレット）」を作成しました。お子様の家庭学習が習慣化され、社会で自立し、「生きる力」が向上するよう、ぜひ本手引きをご活用ください。

ひとをつなぎ、未来をひらく

家庭学習による効果

家庭学習によって、次のような効果が期待できます。



その1 学習したことがしっかりと身につきます！

学校で学習したことを家庭で復習することにより、習熟・定着を図ることができます。また、予習することも大切です。予習は授業を分かりやすくします。

特に漢字や計算などは、毎日繰り返し練習することで定着していきます。学校で「分かった」ことが、反復練習によって「できる」という自信につながります。

その2 脳の働きがよくなります！

読み・書き・計算を毎日繰り返すことは、脳の活性化につながると言われます。脳も手足の筋肉と同じように毎日繰り返し使うことで活発に働くようになるのです。鍛えれば鍛えるほど発達し、たくましくなって、脳がいろいろなことに順応できるようになります。頭をどんどん使って脳を鍛えたいものです。

その3 学習する習慣が身につきます！

毎日、一定時間、決まった場所で家庭学習を続けることにより、自ら進んで学習する習慣が身につきます。毎日続けることで、やがて、あたりまえの習慣になり、学ぶ力が大きく伸びていきます。毎日欠かさず家庭学習をするという習慣を続けさせてください。

その4 忍耐力・根気・集中力が高まります！

家庭学習の最大の敵は、テレビやゲーム、マンガなどの誘惑です。この誘惑に打ち勝つことにより、我慢強さ、根気、集中力を養うことができます。『テレビやゲームなどの時間を決める』『スマートフォンや携帯電話を学習中は操作しない』など、自ら決まりを作り、学習に集中的に取り組ませたいものです。そのためにも、家庭学習の時間にはテレビを消す、スマートフォンや携帯電話をマナーモードにするといった家族全員の協力も必要です。

家庭学習とは、家庭で学習することで、宿題と自主学習があります。

宿題・・・学校から出された課題。その日に行った授業の復習やテストに合わせた範囲の問題が多い。

自主学習・・・自分で課題を見つけ取り組む学習。宿題のあとに取り組ませたい。



家庭学習の習慣化 3つのポイント

家庭でできることは、家庭学習の環境づくりです。まずは、親子で話し合い、学習習慣が身に付くような場づくりから始めましょう。

ポイント1 生活のリズムを整えましょう

- ① 「早寝・早起き・朝ご飯」や朝の排便など、規則正しい生活を送らせてください。
- ② 規則正しい食習慣をつけ、基礎体力をつけさせてください。
- ③ テレビやゲームの時間などの決まりをつくり、約束事を守らせてください。

ポイント2 学ぶ雰囲気をつくりましょう

- ① 学習の場所は、学習机でも食卓でも構いません。静かで集中できることが肝心です。テレビも消してください。学ぶ雰囲気づくりは、家族の協力が必要です。
- ② 身のまわりの整理整頓をさせてください。学習の場は、学習に使うものだけを置くようにし、マンガやスマートフォン（携帯電話）など気の散るようなものは近くに置かないようにさせてください。

ポイント3 子どもの対話を深めましょう

- ① 学校での出来事や学習の様子を聞き、子どもががんばっていることや困っていることを理解してください。
- ② 新聞記事やニュースなどを話題にして、社会へ目を向けさせてください

学力形成は生活習慣から



お子様の学力形成には、学習の習慣はもとより生活習慣も大きく関わっています。

成績の伸び悩みの要因の一つに、「ルーズな生活態度」があります。つまり、「やるべきことを怠けてやらない」とか「やっても雑だったり、いい加減なやり方だったり」すると成績が伸びないということです。反対に、「早寝早起き朝ごはんの習慣」や「自主的な家庭学習」が身につけている生徒は平均正答率がよいという結果が全国学力学習状況調査から明らかになっています。

学力の差は、こうした取り組みの差から出てくることからみれば、ご家庭で「粘り強く、投げ出さないで取り組む姿勢や生活態度」をサポートしてあげてください。

家庭学習 実践編

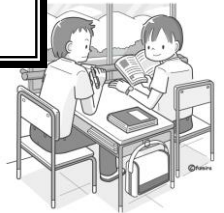
家庭学習のめやすは
1時間以上！

☆ 家庭で、毎日決まった時間、同じ机で勉強することが習慣化すると、「自ら学ぶ」姿勢が身に付きやすくなります。また、継続することでテレビやスマホの誘惑に打ち克つことにも慣れ、我慢強さや集中力が高められることにより学力向上が期待できます。

家庭学習は、習慣化が大切！

1 復習

- まずやるべき家庭学習は宿題です。帰宅したらすぐやります。
- その日に学習したノートを見直し、教科書と照らし合わせます。
- 家庭学習ノートに、重要な部分を整理してまとめたり、授業で間違えた問題を解き直したりします。



ご家庭のパソコンから「ラインズeライブラリ」(ドリル教材等)の家庭学習サービスが利用できます。ID・パスワード等は学校にお問い合わせください。

2 反復練習

読み・書き・計算を毎日繰り返すことは脳の活性化につながります！

【国語・英語の取り組み例】

- ・授業で新しく出てきた漢字や単語を練習(繰り返し書く, 大きく書く等)する。
※覚えたかどうか, 自分でテストすることが大切なポイント！

【数学の取り組み例】

- ・教科書やワーク等から, 授業やテストで間違えた問題の類似問題を探して解く。
※問題を解くだけでなく, ○つけ, 間違い直し, 解き直しまですることが大切！

3 予習

- 教科書の次に習う範囲を読む。特に数学は、「例題」によく目を通しておく。
- 英語は、新しく習う単語の意味を調べておく。
- 予習でわからなかったところを授業でよく聞いて解決する。

4 その他

- 定期テスト(実力テスト)に向けて計画的にワーク等を進める。
- テストが返されたら、間違えた問題をノートに書き写し、解き直して、同じ間違いをしないようにする。
- 家庭読書をとおして、読解力や想像力、表現力などを培い、親子で同じ本を読むなどしてコミュニケーションを図る機会を増やしましょう。

継続は力なり！

千葉県教育委員会では、学庭学習事例集(プリント素材)を提供していますので参考にしてください。

(<http://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/shidou/gakuryoku/2011/kateigakushuu.html>)